

枝野ビジョン 2023

まっとうな明日へ！

～立憲民主党の理念と社会ビジョン～

0. 今、理念とビジョンが問われている

- 少子高齢化・人口減少、長期にわたる経済の低迷
→不安の拡大、見失われる希望、止まらない政治不信
↓
- 示されない時代の理念
40年間、理念と実態なきスローガンだけが踊り続ける
—改革・変革・時代の転換点・新しい・異次元・身を切る etc.
- 社会の変化に対応できていない政権
目の前の個々の事象にパッチワークのように後追いで対応するばかり
何が変わり、何を、なぜ、どう変えるのか、示されていない

○ 古い政治・古い政権を変えなければならない

しかし

新たな政権の選択肢となるべき私たちも、
新たな明確な理念と、具体的なビジョンを伝えきれていない。

- 代表在任時=時間に追われながら党の主張を一方向で訴え
自分たちの訴えが必ずしも届いていないという反省
- この2年、比較的ゆっくりと双方向で対話
暮らしの現場からの声から、見えてきた政治不信の本質

⇒ 国民は単に変えること(=政権交代)を求めているのではない
信念に基づくブレない理念と確固たるビジョン(=将来像)を
求めている

↓↓

目先の現象や政局に右往左往せず、目の前の各論のみに振り回されず、

○ 政治理念(根本となる考え)をより明確にして

社会の変化を具体的に示し、それに対応した

目指す社会のビジョン(将来像)を打ち出すことが必要 2

1.立憲民主党の理念

○ 党名からも、綱領からも、明確

立憲主義こそが基本理念

—ただし、その解説が必要

立憲民主党綱領 冒頭

立憲主義と熟議を重んじる民主政治を守り育て、人間の命とくらしを守る

立憲主義

「憲法に基づいて政治を行う」という基本的な考え方で、憲法によって、政府の恣意的な権力の行使を制限し、国民の権利を守ろうとするもの

日本国憲法が政治に求める基本理念

第 13 条 すべて国民は、個人として尊重される。

第 25 条 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。



立憲主義に基づき、

一人ひとりを尊重して、

それぞれが抱えている多様な思いと不安に寄り添い、
いかなる経済・社会状況の下でも、すべての一人ひとりに

健康で文化的な生活を保障すること

3

● 不安が募り、経済が低迷し、未来への希望が見えにくくなっている時代状況



この立憲民主党の理念は、時代の要請である。

